

正味財産増減計算書総括表

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

(単位:円)

科 目	一般会計	特別会計	合 計
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	[7,939,039]	[17,427,245]	[25,366,284]
② 特定資産運用益	[29,640,259]	[2,594]	[29,642,853]
③ 事業収益	[2,341,949,289]	[580,370,020]	[2,922,319,309]
労働安定基金収益	2,293,019,189		2,293,019,189
技能研修受講料収益	48,930,100		48,930,100
港湾労働法付加金収益		580,370,020	580,370,020
④ 受取補助金等	[]	[385,617,314]	[385,617,314]
受取交付金		227,449,694	227,449,694
受取国庫委託費		158,167,620	158,167,620
⑤ 雑収益	[213,537,959]	[408,894]	[213,946,853]
受取利息	478,920	322,435	801,355
研修センター減価償却引当			
資産評価益	85,623,150		85,623,150
港湾労働者年金等給付引当			
資産評価益	124,253,300		124,253,300
雑収益	3,182,589	86,459	3,269,048
経常収益計	2,593,066,546	983,826,067	3,576,892,613
(2) 経常費用			
① 事業費	[2,351,472,596]	[1,015,039,083]	[3,366,511,679]
港湾労働者年金助成金	2,056,642,500		2,056,642,500
職業訓練助成金	16,575,000		16,575,000
技能研修運営費	198,263,083		198,263,083
計算等事務委託費	71,686,283		71,686,283
送金手数料	8,305,730		8,305,730
雇用管理者研修費		1,480,916	1,480,916
派遣元責任者研修費		1,800,833	1,800,833
業務諸費		183,224,948	183,224,948
事業主支援業務費		650,000,000	650,000,000
国庫委託費		158,167,620	158,167,620
その他の業務費		20,364,766	20,364,766
② 管理費	[223,897,034]	[53,263,042]	[277,160,076]
役員報酬	37,582,102		37,582,102
給料手当	66,165,179	12,089,215	78,254,394
賞与引当金繰入額	8,293,687	310,126	8,603,813
退職給付費用	14,309,000	890,000	15,199,000
福利厚生費	18,445,960	2,661,782	21,107,742
会議費	2,029,784	2,159,809	4,189,593
旅費交通費	19,449,650	787,520	20,237,170
通信運搬費	3,719,879	1,206,098	4,925,977
減価償却費	169,335	10,655,761	10,825,096
調査広報費	3,807,766	3,779,006	7,586,772
図書費	285,737		285,737
消耗品費	999,497	2,778,309	3,777,806
保守費	927,933	1,520,854	2,448,787
印刷製本費	371,307	171,041	542,348
光熱水料費	899,270	268,612	1,167,882
賃借料	23,191,967	7,284,908	30,476,875
保険料		10,165	10,165
手数料	23,060,055	2,110,673	25,170,728
租税公課	46,000	3,545,389	3,591,389
雑 費	142,926	1,033,774	1,176,700
経常費用計	2,575,369,630	1,068,302,125	3,643,671,755
当期経常増減額	17,696,916	△ 84,476,058	△ 66,779,142

2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
① 固定資産除却損	[430,120]	[787,807]	[1,217,927]
構築物除却損	10,557		10,557
車両運搬具除却損	180,000		180,000
什器備品除却損	239,563		239,563
ソフトウェア除却損		787,807	787,807
② 固定資産減損損失	[13,984]	[49,974]	[63,958]
電話加入権減損損失	13,984	49,974	63,958
③ 引当金繰入額	[200,000,000]	[]	[200,000,000]
港湾労働者年金等給付引当金繰入額	200,000,000		200,000,000
④ 前期損益修正損	[2,623,600]	[]	[2,623,600]
前期損益修正損	2,623,600		2,623,600
経常外費用計	203,067,704	837,781	203,905,485
当期経常外増減額	△ 203,067,704	△ 837,781	△ 203,905,485
当期一般正味財産増減額	△ 185,370,788	△ 85,313,839	△ 270,684,627
一般正味財産期首残高	3,666,623,609	921,723,147	4,588,346,756
一般正味財産期末残高	3,481,252,821	836,409,308	4,317,662,129
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	500,000,000	1,000,000,000	1,500,000,000
指定正味財産期末残高	500,000,000	1,000,000,000	1,500,000,000
III 正味財産期末残高	3,981,252,821	1,836,409,308	5,817,662,129

一般会計正味財産増減計算書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	[7,939,039]	[7,980,829]	△ 41,790
② 特定資産運用益	[29,640,259]	[31,864,647]	△ 2,224,388
③ 事業収益	[2,341,949,289]	[2,825,263,329]	△ 483,314,040
労働安定基金収益	2,293,019,189	2,771,556,163	△ 478,536,974
技能研修受講料収益	48,930,100	53,707,166	△ 4,777,066
④ 雑収益	[213,537,959]	[4,668,184]	208,869,775
受取利息	478,920	1,541,840	△ 1,062,920
研修センター減価償却引当資産評価益	85,623,150	0	85,623,150
港湾労働者年金等給付引当資産評価益	124,253,300	0	124,253,300
雑収益	3,182,589	3,126,344	56,245
経常収益計	2,593,066,546	2,869,776,989	△ 276,710,443
(2) 経常費用			
① 事業費	[2,351,472,596]	[2,431,860,054]	△ 80,387,458
港湾労働者年金助成金	2,056,642,500	2,112,382,500	△ 55,740,000
職業訓練助成金	16,575,000	17,799,000	△ 1,224,000
技能研修運営費	198,263,083	208,950,940	△ 10,687,857
計算等事務委託費	71,686,283	71,918,294	△ 232,011
送金手数料	8,305,730	20,809,320	△ 12,503,590
② 管理費	[223,897,034]	[298,855,444]	△ 74,958,410
役員報酬	37,582,102	36,361,774	1,220,328
給料手当	66,165,179	62,972,671	3,192,508
賞与引当金繰入額	8,293,687	7,728,470	565,217
退職給付費用	14,309,000	9,410,691	4,898,309
福利厚生費	18,445,960	18,185,940	260,020
会議費	2,029,784	2,595,683	△ 565,899
旅費交通費	19,449,650	6,359,263	13,090,387
通信運搬費	3,719,879	3,940,826	△ 220,947
減価償却費	169,335	187,848	△ 18,513
調査広報費	3,807,766	7,532,340	△ 3,724,574
図書費	285,737	278,976	6,761
消耗品費	999,497	1,908,654	△ 909,157
保守費	927,933	670,349	257,584
印刷製本費	371,307	1,437,509	△ 1,066,202
光熱水料費	899,270	1,081,601	△ 182,331
賃借料	23,191,967	23,096,860	95,107
手数料	23,060,055	7,265,407	15,794,648
租税公課	46,000	58,800	△ 12,800
研修センター減価償却引当資産評価損	0	70,550,400	△ 70,550,400
港湾労働者年金等給付引当資産評価損	0	35,834,000	△ 35,834,000
雑費	142,926	1,397,382	△ 1,254,456
経常費用計	2,575,369,630	2,730,715,498	△ 155,345,868
当期経常増減額	17,696,916	139,061,491	△ 121,364,575
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
① 固定資産売却益	[0]	[1,115,515]	△ 1,115,515
車両運搬具売却益	0	1,115,515	△ 1,115,515
② 港湾労働者年金等給付引当金戻入益	[0]	[600,000,000]	△ 600,000,000
港湾労働者年金等給付引当金戻入益	0	600,000,000	△ 600,000,000
経常外収益計	0	601,115,515	△ 601,115,515
(2) 経常外費用			
① 特定資産売却損	[0]	[547,700,000]	△ 547,700,000
港湾労働者年金等給付引当資産売却損	0	547,700,000	△ 547,700,000
② 固定資産除却損	[430,120]	[506,295]	△ 76,175
建物除却損	0	411,417	△ 411,417
構築物除却損	10,557	0	10,557
車両運搬具除却損	180,000	0	180,000
什器備品除却損	239,563	94,878	144,685
③ 固定資産減損損失	[13,984]	[0]	13,984
電話加入権減損損失	13,984	0	13,984
④ 引当金繰入額	[200,000,000]	[0]	200,000,000
港湾労働者年金等給付引当金繰入額	200,000,000	0	200,000,000
⑤ 前期損益修正損	[2,623,600]	[0]	2,623,600
前期損益修正損	2,623,600	0	2,623,600
経常外費用計	203,067,704	548,206,295	△ 345,138,591
当期経常外増減額	△ 203,067,704	52,909,220	△ 255,976,924
当期一般正味財産増減額	△ 185,370,788	191,970,711	△ 377,341,499
一般正味財産期首残高	3,666,623,609	3,474,652,898	191,970,711
一般正味財産期末残高	3,481,252,821	3,666,623,609	△ 185,370,788
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	500,000,000	500,000,000	0
指定正味財産期末残高	500,000,000	500,000,000	0
III 正味財産期末残高	3,981,252,821	4,166,623,609	△ 185,370,788

一般会計財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

- (1)有価証券の評価基準及び評価方法
 満期保有目的の債券 ……………個別法による原価法を採用している。但し、債券金額と異なる価額で取得した債券で、当該差額が金利の調整と認められるものは、償却原価法によっている。
- その他の有価証券
 時価のあるもの ……………決算日の市場価格等に基づく時価法（売却原価は個別法により算定）によっている。
 時価のないもの……………個別法による原価法によっている。
- (2)固定資産の減価償却の方法
 減価償却資産……………定額法によっている。
- (3)引当金の計上基準
 賞与引当金……………役員及び職員の賞与の支給に備えるため、賞与支給見込み額のうち当期負担すべき額を計上している。
 退職給付引当金……………役員及び職員の期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上している。
 港湾労働者年金等給付引当金… 港湾労働者年金等給付引当金の支給原資の不足額に充当するため計上している。
- (4)リース取引の処理方法 ……………リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。
- (5)消費税等の会計処理
 消費税等……………税込み方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	500,000,000	0	0	500,000,000
小 計	500,000,000	0	0	500,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	82,053,000	10,824,000	0	92,877,000
研修センター減価償却引当資産	1,460,000,000	100,000,000	0	1,560,000,000
港湾労働者年金等給付引当資産	2,000,000,000	200,000,000	0	2,200,000,000
小 計	3,542,053,000	310,824,000	0	3,852,877,000
合 計	4,042,053,000	310,824,000	0	4,352,877,000

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	当期末残高	（うち指定正味財産からの充当額）	（うち一般正味財産からの充当額）	（うち負債に対応する額）
基本財産				
投資有価証券	500,000,000	(500,000,000)		
小 計	500,000,000	(500,000,000)		
特定資産				
退職給付引当資産	92,877,000			(92,877,000)
研修センター減価償却引当資産	1,560,000,000		(1,560,000,000)	
港湾労働者年金等給付引当資産	2,200,000,000			(2,200,000,000)
小 計	3,852,877,000		(1,560,000,000)	(2,292,877,000)
合 計	4,352,877,000	(500,000,000)	(1,560,000,000)	(2,292,877,000)

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取 得 価 額	減 価 償 却 累 計 額	当 期 末 残 高
建 物	984,292,961	558,802,902	425,490,059
構 築 物	514,770,658	205,024,351	309,746,307
車 両 運 搬 具	389,959,566	357,076,414	32,883,152
機 械 装 置	865,960,775	755,098,901	110,861,874
什 器 備 品	55,160,561	44,683,955	10,476,606
ソ フ ト ウ ェ ア	9,022,020	1,119,289	7,902,731
合 計	2,819,166,541	1,921,805,812	897,360,729

5 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	債 権 金 額	貸 倒 引 当 金 の 当 期 末 残 高	債 権 の 当 期 末 残 高
未 収 金	232,718,245	0	232,718,245
合 計	232,718,245	0	232,718,245

6 保証債務等の偶発債務

港運労使が締結した協定に基づき、平成12年5月から年金額を減額したことを不服として、受給権一部から提訴された年金請求事件3件に係争中である。

7 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	帳 簿 価 額	時 価	評 価 損 益
国 債	488,319,464	483,850,000	△ 4,469,464
合 計	488,319,464	483,850,000	△ 4,469,464

8 関連当事者との取引内容

該当なし

9 その他

(1)リース取引関係

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引

①リース取引の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び期末残高相当額

(単位：円)

科 目	取 得 価 額 相 当 額	減 価 償 却 累 計 額 相 当 額	期 末 残 高 相 当 額
器 具 及 び 備 品	4,506,707	2,820,512	1,686,195
合 計	4,506,707	2,820,512	1,686,195

②未経過リース料期末残高相当額

1年内	918,912 円
1年超	844,323 円
合 計	1,763,235 円

③支払リース料、減価償却費相当額及び支払利息相当額

支払リース料	1,032,554 円
減価償却費相当額	791,329 円
支払利息相当額	45,520 円

④減価償却費相当額の算定方法

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。

⑤利息相当額の算定方法

リース料総額とリース物件の取得価額相当額との差額を利息相当額とし、各期への配分方法については、利息法によっている。

特別会計正味財産増減計算書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①基本財産運用益	[17,427,245]	[17,410,510]	[16,735]
②特定資産運用益	[2,594]	[3,762]	[△ 1,168]
③事業収益	[580,370,020]	[702,096,937]	[△ 121,726,917]
港湾労働法関係付加金収益	580,370,020	702,096,937	△ 121,726,917
④受取補助金等	[385,617,314]	[364,518,049]	[21,099,265]
受取交付金	227,449,694	223,254,345	4,195,349
受取国庫委託費	158,167,620	141,263,704	16,903,916
⑤雑収益	[408,894]	[1,190,177]	[△ 781,283]
受取利息	322,435	1,021,569	699,134
雑収入	86,459	168,608	82,149
経常収益計	983,826,067	1,085,219,435	△ 101,393,368
(2) 経常費用			
①事業費	[1,015,039,083]	[1,007,420,249]	[7,618,834]
雇用管理者研修費	1,480,916	877,389	603,527
派遣元責任者研修費	1,800,833	1,253,008	547,825
業務諸費	183,224,948	193,574,892	10,349,944
事業主支援業務費	650,000,000	650,000,000	0
国庫委託費	158,167,620	141,263,704	16,903,916
その他の業務費	20,364,766	20,451,256	△ 86,490
②管理費	[53,263,042]	[58,263,304]	[△ 5,000,262]
給料手当	12,089,215	11,352,977	736,238
賞与引当金繰入額	310,126	1,072,641	762,515
退職給付費用	890,000	2,109,000	1,219,000
福利厚生費	2,661,782	2,704,024	42,242
会議費	2,159,809	2,053,345	106,464
旅費交通費	787,520	2,278,642	1,491,122
通信運搬費	1,206,098	1,242,338	36,240
減価償却費	10,655,761	10,147,102	508,659
調査広報費	3,779,006	8,043,616	4,264,610
消耗品費	2,778,309	2,830,108	51,799
保守費	1,520,854	1,147,490	373,364
印刷製本費	171,041	147,834	23,207
光熱水料費	268,612	323,078	54,466
賃借料	7,284,908	7,574,509	289,601
保険料	10,165	25,539	15,374
手数料	2,110,673	2,062,415	48,258
租税公課	3,545,389	2,986,816	558,573
雑費	1,033,774	161,830	871,944
経常費用計	1,068,302,125	1,065,683,553	2,618,572
当期経常増減額	△ 84,476,058	19,535,882	△ 104,011,940

2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
①固定資産除却損	[787,807]	[0]	[787,807]
ソフトウェア除却損	787,807	0	787,807
②固定資産減損損失	[49,974]	[0]	[49,974]
電話加入権減損損失	49,974	0	49,974
経常外費用計	837,781	0	837,781
当期経常外増減額	△ 837,781	0	△ 837,781
当期一般正味財産増減額	△ 85,313,839	19,535,882	△ 104,849,721
一般正味財産期首残高	921,723,147	902,187,265	19,535,882
一般正味財産期末残高	836,409,308	921,723,147	△ 85,313,839
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	1,000,000,000	1,000,000,000	0
指定正味財産期末残高	1,000,000,000	1,000,000,000	0
III 正味財産期末残高	1,836,409,308	1,921,723,147	△ 85,313,839

特別会計財務諸表に対する注記

(特別会計)

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債権 …… 個別法による原価法を採用している。但し、債権金額と異なる価額で取得した債権で、当該差額が金利の調整と認められるものは、償却原価法によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

減価償却資産…………… 定額法によっている。

(3) 引当金の計上基準

賞与引当金…………… 職員の賞与の支給に備えるため、賞与支給見込み額の当期負担すべき額を計上している。

退職給付引当金 …… 職員の期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上している。

(4) リース取引の会計処理

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等…………… 税込み方式によっている。

2 基本財産の増減額及びその残高

基本財産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	999,883,953	199,967,012		1,199,850,965
定期預金	116,047	50,000	17,012	149,035
合 計	1,000,000,000	200,017,012	17,012	1,200,000,000

3 基本財産の財源等の内訳

基本財産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)
基本財産			
投資有価証券	1,199,850,965	(999,900,609)	(199,950,356)
定期預金	149,035	(99,391)	(49,644)
合 計	1,200,000,000	1,000,000,000	200,000,000

4 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産	20,891,000	5,442,000	3,441,000	22,892,000
合 計	20,891,000	5,442,000	3,441,000	22,892,000

5 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産				
退職給付引当資産	22,892,000			(22,892,000)
合 計	22,892,000			(22,892,000)

- 6 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。
 (単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	1,637,828	1,205,386	432,442
車両運搬具	12,363,274	11,617,605	745,669
什器備品	2,894,400	2,779,030	115,370
ソフトウェア	64,934,100	44,952,589	19,981,511
合計	81,829,602	60,554,610	21,274,992

- 7 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高
 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおりである。
 (単位:円)

科目	債権金額	貸倒引当金の 当期末残高	債権の 当期末残高
未収金	62,429,386	0	62,429,386
合計	62,429,386	0	62,429,386

- 8 補助金等の内訳並びに交付者、当期増減額及び残高
 補助金等の内訳並びに交付者、当期増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の 記載区分
補助金						
交付金	厚生労働省	0	227,449,694	227,449,694	0	
国庫委託費	厚生労働省	0	158,167,620	158,167,620	0	
合計		0	385,617,314	385,617,314	0	

- 9 関連当事者との取引の内容
 該当なし

10 その他

リース関係取引関係……リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引

- (1)リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び期末残高相当額
 (単位:円)

科目	取得価額相当額	減価償却累計額 相当額	期末残高相当額
工具・器具・備品	8,816,292	3,492,574	5,323,718
合計	8,816,292	3,492,574	5,323,718

- (2)未経過リース料期末残高相当額

1年内	1,826,199 円
1年超	3,620,278 円
合計	5,446,477 円

- (3)当期の支払リース料、減価償却費相当額及び支払利息相当額

支払リース料	5,476,375 円
減価償却費相当額	3,775,169 円
支払利息相当額	174,237 円

- (4)減価償却費相当額の算定方法

リース期間を耐用年数とし、残存価格を零とする定額法によっている。

- (5)利息相当額の算定方法

リース料総額とリース物件の取得価額相当額との差額を利息相当額とし、各期への配分方法については、利息法によっている。